

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号 ( 14 )

評価実施日	令和6年2月14日(水)		
委員	氏名	所属等	備考
	松浦 昭始	元県立高等学校教頭	
	野間 逸人	税理士	
	小山田 憲正	寺住職	
	吉武 美由紀	病院事務長	
	坂本 考弘	全日制PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活について 定時制の出席率が、上がってきており大変良い傾向である。(定)</p> <p>(2) 保健衛生について 昨年末からインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症が同時流行している。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について、マスクの着用等の状況はどうなっているのか。街中で学生を見かけると無防備な様子も見られ心配している。状況によっては、予防対策が必要だと感じる。また、今治市においても带状疱疹の患者が増えている。教職員についても、ストレスや寝不足には十分に気を付けていただきたい。(全)</p> <p>(3) 教育相談について 1学期末には、不登校傾向の生徒が増えているということであったが、その後の経過はどうか。また、いじめ等に関する情報や対策はどのようなものか。(全)</p> <p>(4) その他 評価全体について、概ね成果があったということで、良かったのではないかと。(全・定)</p> <p>2 その他 ・来年度から特色入学者選抜が実施されるとのことであるが、志願者数の変動が予想される。大変なことは思うが対策をお願いする。 ・部活動について、9割の生徒が入部し活動している。活動の支援について、PTA理事会においても、コロナ禍に減となった文化体育後援費の寄付金の募り方について検討しているところである。(全)</p>	<p>・小・中学校では、不登校傾向だった生徒の中にも、ほぼ皆勤の生徒がいる。互いにコミュニケーションを取りながら、学校生活を楽しんでいる様子である。引き続き充実した活動ができるように、支援していく。</p> <p>・マスク着用については個人の判断に任せている。但し、3年生は大学受験や卒業式を控えており、1・2年生についてもそのことを意識して行動するように声掛けをし、集会時などは必要に応じてマスク着用を促している。教室では、意識の高い生徒も多く、多くの生徒がマスクを着用している。 ・今年度、授業で使用するすべての教室に、二酸化炭素濃度計と小型サーキュレーターを設置し、換気の目安としている。引き続き活用していきたい。 ・また、職員室に空気清浄機と加湿器を設置し、教職員の健康管理や生徒の個別指導における環境完全を図った。</p> <p>・不登校傾向の生徒については、担任を軸に学年、教育相談課、保健室など連携して、個別の対応に当たることで、2学期には減少した。各学期始めには、担任との面接週間を設け放課後の時間を十分に確保したことや、2学期に文化芸術発表会を実施するなど、生徒の活躍の場を設けたことが、良い傾向につながったと考える。来年度の年間計画においても、生徒の緊張を解す日程や内容について検討する。 ・生徒の学校生活の悩みなどに関するアンケートを年2回実施している。悩みを持つ生徒については、状況に応じて担当教員を中心に対応している。いじめの報告はない。来年度以降も内容を検討しながら実施して、悩みの早期対策につなげていく。</p> <p>・多様化する生徒と良好な関係を築きながら、生徒の学習意欲が実りになるように支援していきたい。</p> <p>・自己推薦型の入学者選抜になるが、具体的な募集人員や内容についてはこれからである。学びに向かう校風を大切にしながら、検討していく。 ・活動に必要な経費が高騰しており、後援費の募集方法について、御提案をいただくことは大変ありがたい。実施に繋げ、活動の充実を図りたい。</p>